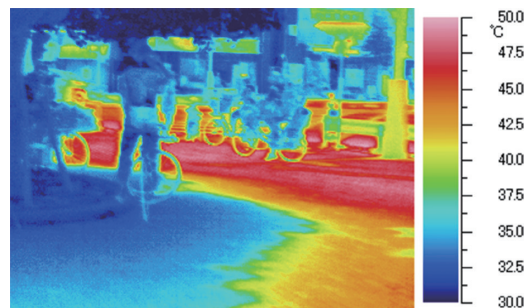


日陰が涼しい本当の理由

真夏の日中、日射しが照りつける中アスファルト道路を避けて、木かげを探して歩く経験は誰もあるのではないのでしょうか？

木かげ下の気温もアスファルト道路の気温も同じなのに、なぜ木かげを選ぶのでしょうか？

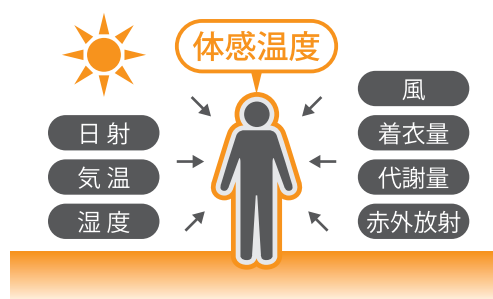


環境省まちなかの暑さ対策ガイドラインによる試験データより抜粋

実は、日陰も日向も気温は同じ。違うのは **体感温度**。

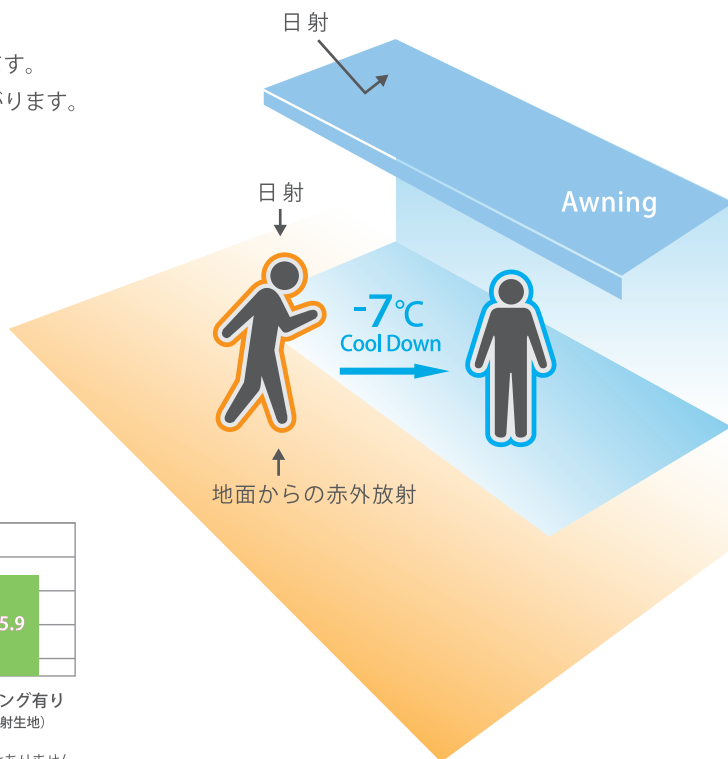
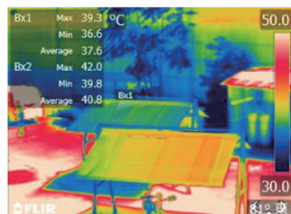
体感温度とは？

体感温度とは、人の肌を感じる温度の感覚を表したものである。人は気温だけではなく、温度、風、日射や地表面の放射熱から影響を受け、「暑い」「涼しい」と感じます。

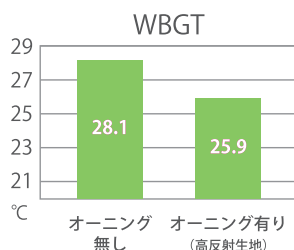
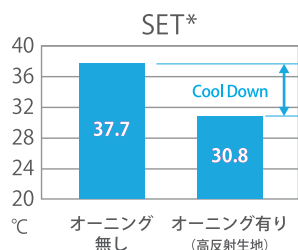


オーニングが体感温度を **7°C** 下げます。

オーニングを設置して日陰をつくり出すことで、体感温度上昇の要因である、日射と赤外放射を大幅にカットします。結果、オーニングの下の体感温度は、日向と比べると約7°C下がります。



■ 体感温度の指標



< 実験地: 埼玉 桶川試験場にて9月に測定(気温30°C) > ※ 試験測定値であり、保証値ではありません。

標準有効温度 SET* (Standard Effective Temperature)

SET* (エィ-ティー-スター) は、研究者や空調分野の技術者に広く使われている体感温度指標で、温熱的に同等な標準環境の気温(°C)という事が出来ます。人の温冷感や快適感と良い関係性を示し、SET* で 32°C を超えるあたりで「不快」と感じる傾向にあるようです。

湿球黒球温度 WBGT (Wet Bulb Globe Temperature)

WBGT は、人の酷暑限界を知る為に開発され、日本では主に産業職場の熱環境評価に使われてきました。現在は屋内外の熱中症予防の指標として普及し、環境省では「暑さ指数」として全国 840 地点での実況予測値を公表しています。WBGT 28°C 以上では厳重警戒等になっております。